



第 22 回 北陸(日本)・韓国経済交流会議のご案内

1. 「北陸(日本)・韓国経済交流会議」とは

日韓両国の地域間交流拡大を目指し、2000 年の第 1 回会議（於：富山市）開催以来、北陸 3 県と韓国の日本海側 4 地域で交互に開催しております。2025 年は、両国政府の日韓国交正常化 60 周年事業として金沢市で開催しました。本年度は第 22 回会議を韓国・大邱（テグ）広域市で開催することとなりました。皆様のお申し込みをお待ちしております。

2. 第 22 回 北陸(日本)・韓国経済交流会議について

1) 開催場所： 韓国 大邱広域市

2) 開催日程： 2026 年 10 月 21 日（水）～24 日（土） 3 泊 4 日

※産業視察：10 月 22 日（木）、本会議：10 月 23 日（金）

3) 会議テーマ：「国交正常化 60 周年記念を越えて、実践へ～日・韓（北陸）地域間交流～」

・セッションⅠ：日・韓会員自治体の地域活性化政策

・セッションⅡ：先端未来産業

4) 主要行程（案）

日程	主な行事	備考
10 月 21 日（水）	日本側出発：小松（10:15）→仁川（12:10）	KE2190
	移動：仁川空港 →大邱広域市	貸し切りバス
	夕食会	大邱イースタンホテル・大邱マリオットホテル泊
10 月 22 日（木）	終日：産業・インフラ視察（大成ハイテック、大邱樹木園、SAMBO MOTORS 世川工場、未来革新技术博覧会（FIX2026）	大邱イースタンホテル・大邱マリオットホテル泊
	夕刻：開催地主催歓迎レセプション	
10 月 23 日（金）	第 22 回 北陸（日本）・韓国経済交流会議	
	午餐交流会	
	夕刻：高速鉄道にて大邱広域市からソウルに移動	宿泊先未定
10 月 24 日（土）	午前：ソウル市内視察	
	日本側帰国 プラン① 仁川（7:30）→小松（9:15）	KE2189
	日本側帰国 プラン② 金浦（9:00）→羽田（11:20）	KE2101
	日本側帰国 プラン③ 金浦（16:20）→羽田（18:35）	KE2103

※上記は小松発の行程案です。他地域から現地入りされる場合は、別途ご相談ください。

※羽田からの小松便・富山便並びに新幹線利用の場合、JTB 金沢にても手配可能です。

※プラン①および③については団体バスを手配します。プラン②は各自でのご対応をお願いします。

3. 参加募集人数：30 名程度

4. 参加費用

1) 航空券：ビジネスクラス：20 万円程度（空港税等込み）

エコノミークラス：10 万円程度（空港税等込み）

※座席クラスにつきましては、申し込み人数によりご希望に添えない場合がございます。

※渡航日の前日から起算して 90 日目にあたる 7 月 23 日以降は、取消料が発生します。

2) 宿泊費：9 万円程度（3 泊）

3) 現地移動費：5 千円程度（KTX：東大邱駅⇒ソウル駅）

4) 懇親会費用：5 千円（10 月 23 日の夜に日本側参加メンバーにてソウル市内にて開催予定）

※参加人数や行程の変更、燃油サーチャージおよび為替レートの変動等により、金額が変更となる可能性がございます。

5. 申込み方法

参加をご希望の方は、**7 月 21 日（火）12 時まで**に、以下の JTB-OASYS 電子登録に必要事項を入力ください。

※7 月 21 日（火）12 時以降の申し込みの場合、または団体航空券の規定人数を満たさない場合は、参加費用が変動する可能性があります。

☞ JTB-OASYS：<https://www.jtb-oa-sys.com/login>

- ・会員代表者以外の方もお申しいただけます。
- ・参加希望者数によっては、申込を調整させていただく場合がございます。
- ・航空券手配のためにパスポート情報の登録が必要となります。

※パスポートをお持ちでない方、また有効残存期間が出国時（10 月 21 日）に 90 日以上残っていない方は、パスポートのご準備をお願いします。

6. 問い合わせ先

問い合わせ先：北陸 AJEC 島田屋・稲木 [TEL:076-282-9573](tel:076-282-9573) e-mail：shimadaya@hokkeiren.gr.jp

※詳細につきましては、上記問い合わせ先にご連絡いただければ、電子メールにてお送りいたします。

開催地：大邱広域市とは

大邱広域市は、韓国南東部に位置し、人口約 240 万人を擁する韓国第 4 の都市です。古くから交通・物流の要衝として発展し、現在は繊維産業をはじめ、機械・金属、医療機器、ロボット、自動車部品などの高度製造業の集積地として韓国経済を支えています。

近年は「先端医療産業都市」として国家戦略特区に指定され、医療クラスターの形成や研究開発拠点の整備が進んでいます。また、スタートアップ支援や産学連携も活発で、産業構造の高度化とイノベーション創出を力強く推進しています。

市内には韓国有数の名門校である慶北大学校や啓明大学校などが立地し、優秀な人材供給と研究基盤の面でも高いポテンシャルを有しています。

